

研究協力校 及び 研究グループ

－ 研究テーマ・研究内容 －

<下ノ加江小学校>－研究主任：松本 恵梨香

校長：山崎 修二

1. 研究テーマ

「主体的・対話的で深い学びによる学力の向上」

～複式授業の工夫・改善～

2. 研究の概要

①複式授業の改善に向けた研究

- ・複式授業のスタンダードづくり
- ・主体的・対話的で、深い学びの在り方
- ・進行表の活用
- ・学習リーダーの育成
- ・直接・間接指導の在り方

②その他

- ・これからのカリキュラムマネジメントの在り方

3. その他

I 学習会「複式教育について」

○期日：平成29年8月9日（水）

○講師：田中 元康 先生（高知大学教育学部附属小複式主任）

<中浜小学校>－研究主任：永橋 貴恵

校長：坂本 恭美子

1. 研究テーマ

「基礎的・基本的な学習内容や学習習慣を身につけ主体的に学ぶ子どもの育成」

～複式授業形態を生かした学び合い(とも学び)学習の取り組みを通して～

2. 研究の概要

(1) 研究主題について

昨年度は研究テーマを「自己を鍛え学びう力を育てる～対話の生まれる道徳の授業づくりを通して～」とし取り組んできた。次期学習指導要領から「特別な教科道徳」とし

て、新たな授業展開が求められる道徳の授業を中心に、児童が協働し主体的に課題を追求していく教育活動を目指しての研究とした。今後「考え・議論する道徳」へと授業の質の転換が求められるが、これは道徳の時間に限ったことではなく、全ての授業で追求すべき課題であり、これまでの授業のあり方を根本的に見直す必要があった。提案授業日は公開校内研修とし市内小中学校、教育研究所の先生方と共に学び合えたことは、多様な見方・考え方を得る機会となり大変効果があった。児童の道徳意識調査（年間2回実施）からも、道徳教育に関する関心の高さが見られ、規範意識の項目も全て向上した。このことから、昨年度の研究は一定の成果は得たと考える。

そこで、本年度は昨年度の研究の礎に、複式の授業形態を生かした学び合い（とも学び）を研究の柱に取り組み。「とも学び」に必要な基本的な言語力から学習内容・目的に応じた多様な形態まで発達段階に応じて丁寧に指導していく。さらには基本型から脱却して主体的な学びへ児童が変容していくことを目指したい。そのためには、少人数複式だからこそできる柔軟なカリキュラム編成（カリキュラムマネジメント）に取り組む。例えば、教科担任制にするなどの研究組織を整えることや、教科間の横断的な単元計画等がその方策となる。昨年度の課題を明らかにしながら本研究を推進していきたいと考える。

（２）研究計画

- ①公開授業・提案授業（各1本：年間合計6本）
- ②提案授業での講師招聘（西部教育事務所・高知大附属小学校複式部 等）
- ③提案授業・講師招聘の際は市内小中学校への公開研究とする。
- ④授業力診断シートの活用（年間2回実施）
- ⑤児童意識調査（年間3回実施）
- ⑥「中浜小授業スタンダード」「Basicガイドブック」を活用し問題発見型の授業とすることから、家庭学習と連動させる。（家庭学習の質の向上）
- ⑦検証→単元テスト・各種学力調査・児童意識調査・ノート等のパフォーマンス評価

<三崎小学校>－研究主任：畠中 明美

校長：黒岩 壽賀

1. 研究テーマ

『地域の中で学習することで、自立する子どもの育成をめざして』

高知県教育振興計画の目標の1つである地域との連携・協働を推進する為に、総合的な学習の時間や社会等の時間を中心として、三崎という地域の風土に触れ、地域の人達とのかかわりの中で、郷土を愛し守り、生きる力を養う。

2. 研究の概要

◎目標

- ①地域の人達との交流や自然の中での体験活動を通じて、歴史や課題を理解し、故郷を愛する心情を育てる。
- ②「山・川・海の学習」を通じて地域や文化について学び理解を深める。
- ③森林の持つ意義と大切さを学び、これからの環境について考える。
 - 総合的な学習の時間や社会科の時間を活用し、地域と連携しながら、地域の持つ良さを探求し地域と触れ合う中で、環境学習を中心に、体験的な活動を行い身近な自然に触れ、自分達にできることを考える。

◎活動計画

①清掃活動

- ・海岸清掃（全学年）

学校行事と連動させ、自然の中で活動を行い「桜浜」の地域としての価値を考え清掃活動を行う。

- ・川清掃【児童・保護者・地域合同5か所】（全学年）

今の山から流れ出す川を大切にすること、誇りを持つことで、そこで生きることへの自尊感情を育てる。また、地域の中での活動を通して地域を愛する心を育み地域の人達との交流を行う。夏休み中の各地区での活動を通して、地域の人々と触れ合い、地域の持つ良さを考える。

②地域の花作り。【校舎周辺・学校沿道への花植え】（全学年）

③ふるさとの川の恵み体験。【川エビ漁・ころがし作り】三崎川の持つ豊かさ自然の生き物に触れ、川を守ろうとする意識を育てる。（高）海・山・川のつながりを学習し、そこで暮らす人々の生活を考える。

④海洋館見学（海洋生物 生態を学習）

地域の観光施設を見学することで、身近な海に住む生物に関心を持ち、山や川の大切さを理解する。（全学年）

⑤米作り（田植えから収穫・餅つき大会まで）

米作り体験活動を通して、山と川のつながり人々の暮らしを考える。

- 環境保全啓発用看板作り（高）

⑥地域学習。

フィールドワーク・・・ビニールハウス、土佐食、ケンピ工場など地域の工場や施設の見学を行う。

⑦海浜学習（シュノーケリング・サンゴ生態学習）（中・高）

山・川・海の循環作用が自然の摂理であることへの理解。また、そのつながりが身近な自然を育み、人々の暮らしと深く関わっていることを理解する。

⑧間伐作業（高）

3.その他

・ディサービスや社会福祉との関連行事。

【研究グループ】

<土佐清水市特別支援教育研究会> 会長：清水小学校 筒井 広実

1. 研究テーマ

交流学習を通して特別な支援が必要な児童・生徒が互いに連携と親睦を図ることによって社会性を身につけさせ、自立への意欲を育てる。

2. 研究の概要

1 学期 研修会：実践交流

5月19日（金）16:00～16:45（場所 清水中学校）

親子交歓会：ゲーム交流と水族館でえさやり体験

6月13日（火）10:30～15:30（場所 三崎小学校 足摺海洋館）

研修会：実践交流会 8月28日（月）11:00～12:00（場所 清水中学校）

2 学期 交流及び共同学習：野外活動（ゲーム交流とバーベキュー）

11月7日（火）10:30～14:00（場所 幡多青少年の家）

研修会：実践交流、郡文集「大地」仮とじ

11月27日（月）16:00～16:45（場所 清水中学校）

研修会：実践交流、第3回交流会の計画

12月14日（木）16:00～16:45（場所 清水中学校）

3 学期 交流及び共同学習：ゲーム交流とカレー作り

1月15日（月）10:30～14:30（場所 社会福祉センター）

研修会：今年度の総括・文集「つばき」製本

2月23日（金）15:30～16:45（場所 清水中学校）

3. その他

会 長 筒井 広実（清水小学校）

副会長 黒岩 壽賀（三崎小学校）

事務局 吉本 拓也（清水小学校）

会 計 山岡 理江（三崎小学校）

監 査 坂本恭美子（中浜小学校） 岡崎 哲也（清水中学校）

理 事 山崎 泉（清水中学校）

【活動の役割分担】

①文集「つばき」表紙担当：清水小学校

②幡多郡文集「大地」中表紙：清水中学校

③その他の役割分担

* 幡多郡通信「かがやき」原稿：清水中学校

* 清水の教育：長谷川 清治（下ノ加江小学校） 吉本 拓也（清水小学校）